

# 杜の子まつり in 石巻 ジュニアリーダー研修&交流会

一般開催は  
延期

開催日：2022年9月18日（日）  
10：00～16：00  
参加人数：46名（スタッフ等含む）

は実施。

9月8日の理事会で本事業の延期を決定いたしました。今年こそ大震災から10回目となる杜の子まつりを開催する！という思いで準備してきましたが、家族感染が拡大している状況では致し方なしと判断しました。大震災時のジュニアリーダーの思いをつなぐ研修&交流は実施し、彼らはコロナ禍が長引き子供会等からの「要請」が激減している中で一緒に研修できたことを喜び、仲間同士で活発に動きスキルを高めました。

3年ぶりの「杜の子まつり in 石巻」は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み家族が参加するワークショップと芸術鑑賞は延期としましたが、この被災地支援事業のもう一つの柱として継続してきた「ジュニアリーダーの研修と交流」は、関係者のみで行うことに変更し9月18日（日）に実施しました。

当日は石巻市内、東松島市、仙台市内から計25名のジュニアリーダー（以下JL）と仙台市内のシニアリーダー&OB5名が参加しました。

研修&交流はボンクラーズ（榴岡児童館男性職員のユニット）を講師に身体表現等のワークショップを行いました。午後は延期となった鑑賞会を想定し、会場

内外の導線・誘導の確認を行いました。また、午後の研修として行われた阿部清人副代表理事による防災エンスショーは、JLがスキルアップを図るだけでなくバックヤードに入り搬入から終演まで関わりました。終了後のアンケートには、参加したJL全員に「研修交流を続けたい」との回答を頂いた一方で、「子ども達がいなかったのは寂しかった」という感想もありました。今回をもとに、JLと参加する親子が安心して楽しめるよう、「本番」へ繋げていきたいと思えます。石巻市と仙台市の担当者にご協力頂き、JLは地域を超えて仲間と先輩の姿を感じながらの研修交流となりました。



## ◆ジュニアリーダー感想（一部抜粋）◆

- ボンクラーズによる研修では、自分の内面と相手を見つめる・認めることを自然にできるようになったので、集団の中で行動するとき、生かしていきたいと思った。
- 研修では多様性の意義を知ることができました。障害者だから「～だね」とかそういう差別などを無くしていけたらと思いました。交流では自分の知らないゲームなどをすることができて良かったです。
- 3年ぶりに石巻・東松島のジュニアと交流することができ、他のジュニアの良い面を吸収することができたから。
- ボンクラーズによる研修は、今後の活動に役に立つと思った。阿部清人の防災サイエンスショーは防災に関することをたくさん学ぶことができた。
- 裏方としてたくさんのことを学び経験をしたのしかったです。裏方に興味をもってまたやりたいと思いました。
- 子どもたちがいかなかったのは寂しかったのですが、誘導する中で自分ができることを学ぶ事ができ、スキルアップにつながったので良かったです。
- もっといろんな地区と交流したいと思った。ゲームや活動内容を教えあう。
- 貴重なことや活動のヒントを学ぶことができてよかった。出張して児童館などで手伝いをしたい。

